

# 自然・観光

四季折々にみせるありのままの登米市を紹介します。

## 魅力あふれる登米市



### 伊豆沼・内沼 (迫)

日本で2番目にラムサール条約の指定を受けた伊豆沼・内沼は、野鳥たちの楽園です。鳥たちと間近でふれ合うことができます。(11月中旬～)



### 平筒沼ふれあい公園 (米山)

春は桜が咲き誇り、夏はスイレンやハス、秋には紅葉、冬は白鳥などの渡り鳥が飛来するなど、風情豊かな四季折々の顔が見られます。



### チャチャワールドいしこし (石越)

あじさい園やつつじ園、桜並木などが、季節ごとに訪れる人を楽しませてくれます。家族で楽しめる散策コースやピクニック広場、アスレチック遊具などは、アドベンチャー気分を楽しめます。



### 歴史資料館 (登米)

明治中期に建てられ、当時の地方文化を知るための貴重な建造物です。国の重要文化財に指定されています。校舎の中は明治以降の教育史、各時代の教科書、再現教室などが展示されています。



### とぎなみらいげき 鴉波洗堰 (豊里)

昭和7年に、北上川の改修、高水防止、排水の便、航路の調整を目的に建設されました。北上川と旧北上川の分流施設として大きな役割を果たしています。



### 花菖蒲の里公園 (南方)

約5畝にもおよぶ回遊式大庭園で、6月中旬～7月上旬には、約300種、80万本もの見事な花菖蒲の群舞が見られます。



### もくもくランド (津山)

地場産品や木工品販売、クラフト創作活動施設など人々の創作拠点として、また道行くドライバーのオアシスとして愛されています。



### グリーンキャンプなかだ (中田)

自然をまるごと体験できるキャンプ場です。普通テント20張、炊飯棟、キャンプファイヤー場などを完備。(利用期間は5月～10月)



### 三滝堂ふれあい公園 (東和)

大関川の中流にあり、キャンプや芋煮会などで季節を問わずたくさんの人たちが訪れます。

# 歴史・文化

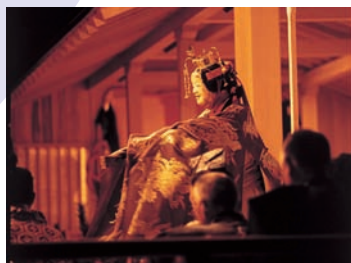
先人から受け継ぎ育んできた登米市の歴史と文化を紹介します。

## 魅力あふれる登米市



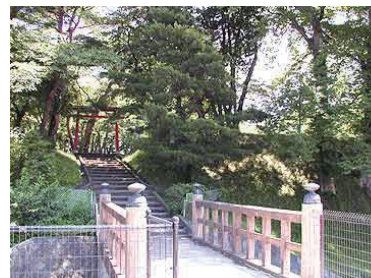
### 石ノ森章太郎ふるさと記念館 (中田)

「仮面ライダー」など数々の名作を世に送りだした萬画家・石ノ森章太郎の作品、愛用品を展示。また少年時代を過ごした「生家」では、当時の落書きなどがそのまま残されています。



### 薪能 (登米)

藩政時代、仙台藩で演能された金春大蔵流の流れを県下で唯一、登米謡曲会が継承しています。伝統芸能伝承館「森舞台」を会場に定期演能され、幽玄の世界が広がり、観客を魅了します。



### 鹿ヶ城跡 (迫)

伊達家臣津田家、亙理家の5千石居城。現在は公園として、桜の名所で知られています。



### 六角堂(南方)

明治17年に建築され、六角形の青い屋根に二階建ての土蔵造りで仏堂に洋風の建築様式が加えられた斬新な建築物です。



### 隠れキリシタンの里 (東和)

江戸時代、キリシタン弾圧を逃れ住んだ人々の隠れ里として知られる綱木地区。時代の犠牲になったキリシタン120人が埋葬された「三経塚」があります。



### 香林寺山門 (豊里)

美しい緑の敷地の奥に見えるのが室町時代後期に建造された県内で2番目に古い木造建築物です(県指定有形文化財建造物)。



### 柳津虚空蔵尊 (津山)

日本三大虚空蔵尊のひとつ。726年に行基が東国巡遊した際に、この地で菩薩を刻んだと伝えられます。元日には、初詣客で大いににぎわいます。



### 第三代横綱丸山権太左衛門 (米山)

米山町出身の力士。身長6尺5寸(約197センチ)、体重43貫(約166キロ)、手形は長さ8寸(約24.2センチ)あったと伝えられています。



### 昌学寺しだれ桜・鐘楼門 (石越)

樹齢約400年を誇る昌学寺境内のしだれ桜は、滝が流れるような薄紅色の花を付けます。また、鐘楼門は石越出身の名工、菅原卯八の最後の作で、高い評価を得ています。